

事務 事業名	コード1	2040	市民会館管理費	課	生涯学習課		
	コード2		【2045活動費含む】 ☐ 主要事業	所属班	市民会館		
政策 体系	基本方針	4	心豊かな人と文化を育むまちづくり	電話番号	62-6581	内線	15
	施策	5	生涯学習の充実	予算科目	会計		
	施策の展開	2	生涯学習の充実及び関連施設のネットワーク化	根拠法令	旭市民会館の設置及び管理に関する条例		
	基本事業	246	各施設の整備充実	款	10	項	04
				目	03		

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 41 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	旭市民会館という建物を管理し、会議室やホール等を市民の生涯学習の場として提供する。 【業務の流れ】 ・貸館業務：随時 ・主催講座：公民館だより4/1号で通知、広報5/15号で募集。6月より全7回。

(2)トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
建物の維持・管理費、報償費(講師謝金)など	事業費内訳						
	国庫支出金	千円					
	都道府県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円	70	102	114		
	一般財源	千円	8,978	10,109	9,366	9,405	
	事業費計(A)	千円	9,048	10,211	9,480	9,405	0
② 延べ業務時間の内訳	人件費						
職員3人、1日8時間	正規職員従事人数	人	3.00	3.00	3.00	3.00	
	延べ業務時間	時間	6,045	6,045	6,045	6,045	
	人件費計(B)	千円	22,971	22,971	22,971	22,971	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	32,019	33,182	32,451	32,376	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 貸館業務 主催講座(ふるさと歴史講座) 建物の維持・管理	ア 主催講座数	講座	1	1	1	1		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 貸館業務 主催講座(ふるさと歴史講座) 建物の維持・管理	イ							
		ウ							
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	市民	ア 人口	人	70,138	69,749	69,223	69,223		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	市民会館をサークル活動等の場として利用できたり、郷土の歴史を講座で学べることで、市民生活が豊かになる。	ア 会議室等利用者数(延べ)	人	16,261	16,334	14,641	16,500		
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	旭市の生涯学習が盛んになる。	ア 定期利用サークル・団体数	団体	22	21	23	26		
		イ	0						

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
昭和32年に旧旭警察署建物を改築し、旭中央公民館設置していたが、昭和40年に旭市民会館新築工事を着工し、現在に至る。 ふるさと歴史講座については、松井安俊氏が文書館嘱託に着任以来郷土史の理解を深めるため20年近く続いている。	建物が老朽化しており、ホールの冷暖房も故障と補修を繰り返しており、施設が最大限機能するよう心がけているが、使用者側が予定通り利用できない事態もしばしばある。	街中の便利な場所に位置しているが、駐車場がせまいのが難点だという声が多い。

事務事業名	市民会館管理費 【2045活動費を含む】	課名	生涯学習課	班名	市民会館
-------	-------------------------	----	-------	----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 生涯学習の場を提供することは、市民サービスの一つである。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 市内には他にも生涯学習の場となる施設があるが、当館近隣に住む市民を中心に当館の意図と規模にほぼ見合った利用がなされている。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 民間委託も可能かもしれないが、適正に滞りなく業務を遂行できる個人や団体を見つけるのなかなか困難と思われる。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 老朽化の進んでいる建物を無駄のない予算の中で維持し、今ある環境の中である程度の成果は上げている。
有効性 評価	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 貸館業務は、現状では活動量を増やしても環境が良くなり利用が増えるわけではない。主催講座は、同じような講座が他の場所でも開催されているので、活動量を増やしても大幅な受講者の増加は見込めない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他（民間・国県を含む）に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(干潟公民館といいいおかユートピアセンターで行われている講座) (2) ☒ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 同じような講座が他の場所でも開催されているので、統廃合は可能である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 (表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 建物の維持・管理、主催講座の開催を無駄のない最低限の予算で行っている。
	⑧ 人件費の削減余地 (表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 民間委託や臨時職員等でまかなおうとするならば、組織体系自体を変える必要がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 旭市は合併以来広域となったが、当館以外にも海上公民館やいいおかユートピアセンター等類似施設も開館しているので、概ね公平・公正であると思われる。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	旭地区の公民館的施設としては他に代わる施設がなく老朽化した施設を修繕しながら使用している。充実した蔵書の図書館も併設しているが駐車場が少なく利用者に不便な状況である。代替施設を早急に検討する必要に迫られている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可)		※2～3年後を目処にした方向性			(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
☐ 目的再設定 ☐ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 廃止・休止		☐ 行政関与の見直し ☒ 事業統廃合・連携(関連事業： ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 費用負担の適正化			<table border="1"><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持		増加																					
成果	向上			○																						
	維持																									
	低下																									
(2)改革改善案について				※いつまでに、なにを、どうするのか？																						
① 早急に施設機能の移転か建て替えを検討しなければならない。																										
②																										
③																										
④																										
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										
① 現有する市の施設の利用が可能か。																										
② 現在地での建て替えでは駐車場不足で利用の増加は難しい。																										
③																										
④																										